

くぼたのぞみ氏講演会 クッツェーを訳しながら 考えたこと

2013年5月16日15:00~17:00
国際研究館5階 共同研究室3

くぼたのぞみ 翻訳家・詩人

アフリカ発／系作家や作品を訳してきてわかってきたのは、
私たちが追いかけてきたヨーロッパやアメリカの全体像だ。
1989年に初訳『マイケル・K』でJ・M・クッツェーを日本
に紹介。それ以後も『少年時代』『鉄の時代』とクッツェー
作品を翻訳し、現在、『少年時代』『青年時代』『サマー
タイム』を1巻にまとめた自伝的三部作と、ポール・オース
ターとの往復書簡集 *Here and Now* を翻訳中。

問い合わせ先 言語社会研究科 中井亜佐子